

△墨田区登録文化財△

六地藏坐像

所在

墨田区墨田五丁目三十一番十三号 夢間寺内

この六地藏像は総高約一五〇センチで、いずれも安山岩の四石からなっており、地面から一、二段目は方形の名石、三段目は逆名、その上に、それぞれ六十センチの丸彫り地藏坐像がのっている。像容は向かって右から持物不明の坐像が二体、両手で幡を持つ半跏像、両手で宝蓋を持つ坐像、持物不明の半跏像、合掌している坐像の順に並んでいます。

欠損や修復の跡がみられますが、そうかくよりのけい僧覚登理慶(りけい)(利慶)が願主となり、七年間にわたって隅田村内の地藏講結衆の二世安樂を願って造立されたことが刻銘から読み取ることができます。

隅田村地藏講中の数年間にわたる作業行為を知り得る、貴重な資料といえます。

六地藏の製作年代は右から、正徳三年(一七一三)二月吉祥日、同四年八月吉祥日、同三年八月吉祥日、同二年二月吉祥日、享保元年(一七一六)九月吉祥日、同三年十月日と刻まれています。

平成四年三月

墨田区